

第9章 資料編

1 富士吉田市障害者計画・障害福祉計画 ・障害児福祉計画策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 富士吉田市における障害福祉のあり方や施策の内容その他の富士吉田市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に関して、富士吉田市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

(1) 障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の策定に関する調査研究

(組織)

第3条 委員会は、委員 20 人以内で組織する。

2 委員は、保健、福祉等の関係者のうちから市長が委嘱する。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長各1名を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員のうちから互選によりそれぞれ定める。

3 委員長は、委員会の会務を総理し、委員会を代表する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱した日から富士吉田市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の策定が終了した日までとする。

(会議)

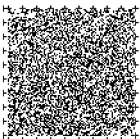
第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、市民生活部福祉課において処理する。



（報酬及び費用弁償）

第8条 委員の報酬及び費用弁償の額並びに支給方法等は、富士吉田市特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 32 年条例第 22 号）第1条第2項、第2条及び第3条の規定を準用する。

（その他）

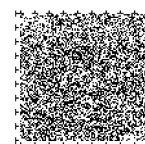
第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この訓令乙は、平成 23 年 12 月 5 日から施行する。

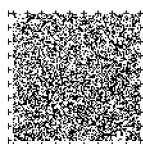
附 則

この訓令乙は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。



2 富士吉田市障害者計画・第7期障害福祉計画 ・第3期障害児福祉計画策定委員名簿

No.	所属・役職	氏名	区分
1	富士吉田市障害者団体 連絡協議会 会長	小俣 壱嵯於	障害者団体代表
2	富士北麓圏域障害者自 立支援協議会 会長	角張 洋和	自立支援協議会
3	社会福祉法人ありんこ 施設長	桑原 由紀枝	障害福祉サービス事業所 代表
4	富士吉田市社会福祉協 議会 常務理事	田辺 静輝	障害福祉サービス事業所 代表
5	地域活動支援センター ふじざくら センター長	萱沼 晴美	障害福祉サービス事業所 代表
6	児童発達支援・放課後 等デイサービスおもちゃ 1号 管理者	武井 泰志	障害児福祉サービス事業所 代表
7	ふじざくら支援学校 校 長	手塚 雅仁	教育機関代表
8	ハローワーク富士吉田 就職促進指導官(併) 統括職業指導官	山本 茂	就労支援機関代表
9	富士・東部圏域 マネージャー	小松 繁	学識経験者
10	富士・東部保健福祉 事務所 地域保健課長	岡部 順子	医療保健機関代表



3 グループヒアリング結果のまとめ

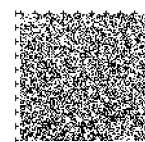
【身体障害者(肢体)グループ】

令和5年10月7日(土)

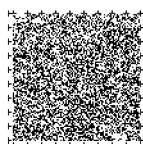
下吉田南コミュニティセンター

当事者8人、市職員2人、記録者1人

項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・障害者に対する情報が入ってこない。 ・市内に義足製作者や専門医がいいため、市外に出るための時間とお金がかかり不便。 ・民生委員の対応に差がある。
災害や緊急時に不安に感じる	・避難時に避難場所まで1人で行けないため避難できない。 ・災害対策に力を入れておらず、優先順位が低いように感じる。 ・障害者を対象にした避難訓練をやってほしい。 ・障害特性に応じた避難所を考えてほしい。 ・避難時は付き添いも付くので人数が必然的に多くなるのに、福祉避難所の収容人数が少ないことに疑問を感じる。
外出の際に不便に感じる	・バスが通ってないところが多く、さらに停留所まで遠い。 ・バスの乗り降りも足が悪い人は見えにくいいため不便。身体障害にも補助が必要。 ・タウンズニーカーがもう少し細い道に入ってくればありがたい。 ・買い物弱者のことも考えてほしい。
相談時に不安なこと	・相談してもその専門でないからわからなかったりする。 ・親身になってくれる人とそうでない人がいるため、考えて相談している。
今住んでいる地域に必要なこと	・安心感が欲しい。弱者を排除しているように見える。 ・車椅子で通れなかったり、登り下りが苦しい道であったりなど、車椅子にとっては難しい道が多い。 ・特に段差が怖いため、車椅子の幅の確保や端だけ平らにする等の対応がほしい。 ・市立病院に障害者用の駐車場を増やしてほしい。 ・市民なのに市立病院でも紹介状が必要な場合がある。障害手帳を見せればいいことにしてほしい。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
将来の不安	・同行援護が必要な時もあるが、周りからは障害者に見えないため大変。 ・周りから理解してもらえないことがある。 ・免許返納後の生活が不安である。
この地域に暮らして良かったこと	・毎日富士山が見える。 ・水がおいしい。 ・他に比べたら災害がなく住みやすい。 ・地域の人が皆親切である。



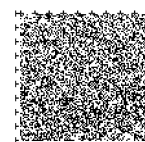
【身体障害者(視覚)グループ】

令和5年9月 29 日(金)

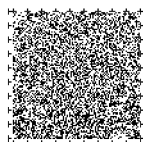
グループヒアリング

当事者3人、市職員2名

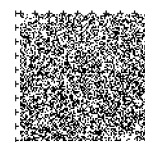
項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・近所に買い物ができるところがあまりない。 ・コミュニケーションをとるのが難しい。声をかけてもらえるとありがたい。 ・杖を持っていないと視覚障害者だとわかってもらえない。 ・乗り物や大型店舗は大丈夫だが、盲導犬入店拒否の店がまだ多い。 ・除雪した雪が壁になっていて通れないこともあった。道路のバリアフリー化も考えてほしい。
災害や緊急時に不安に感じる こと	・避難所への移動手段の確保が難しい。 ・在宅避難の補助、支援も検討してほしい。 ・災害に対する意識の向上が必要。 ・何年か前に防災ベストを配布されたが、今後も配布を検討してもらえるとありがたい。 ・自立支援協議会地域部会から、市に対して防災訓練に障害者も参加させてほしいという申し入れをしたが、障害者の参加は想定していないため参加できないと市からお断りされた。積極的に障害者のことを考えてほしい。 ・視覚障害者向けハザードマップや、音声CDといった対応があれば安心する。 ・現行の富士吉田市の防災アプリは、視覚障害者は全く読めない。改善がされていないため、ボイスオーバーに対応したものを再構築してくれるとありがたい。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
社会参加で不安なこと	・就労できる場所が富士北麓地域に少ない。 ・聴覚や身体の人であれば割と就労率が高いと思うが、視覚は低い ため、視覚障害者でも就労できればいい。 ・幅広い分野で活躍できるように、職業訓練の場が必要。 ・通勤が前提になってしまい、それができないとなると仕事が限られて きてしまう。 ・目的地に行くための手段がほしい。同行援護といった支援等が市 では不足している。
外出の際に不便に感じる事	・国中の人はわざわざ郡内にいったりしないが、郡内の人は高度医 療の受診や買い物で国中に行く。国中の本人負担は2割なのに、 吉田は全額であり、福祉運搬でのお金の負担がかなり大きい。 ・公共交通機関が不便。 ・動ける障害者は高齢者と絡めたサービスが充実すればもっと動き やすくなる。 ・子どものファミリーサポートは援助会員が送迎までできるのに、な ぜホームヘルプや同行援護の場合は車に乗れないのか。そのシス テムを高齢者や障害者のシステムに応用してほしい。 ・バリアフリー化の促進は引き続き困っているため対応してほしい。 音声信号は割と増えているが、必要なところに全部かといわれれ ばまだ足りていない。
相談時に不安なこと	・困ったら市福祉課など、すぐ相談できるところを使う。電話をかけれ ば相談に乗ってくれる。 ・相談内容によって場所を選ぶ。相談する側はいろんな場所を知っ ておく必要があるため。関連した情報を当事者に教えてもらえると 助かる。 ・行政からの印刷物は文字が小さくて読めない。1つ1つの小さいこ との積み重ねが大事。街中でも声掛けしてくれるだけでだいぶ違 う。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
今住んでいる地域に必要なこと	・よく使う場所の音響信号や歩道がほしい。 ・コンパクトシティ化を進めてほしい。 ・歩いて行ける場所がほしい。
将来の不安	・富士吉田市は視覚障害に特化した老人ホームに入るための条件が厳しく、該当しないと入れないという状況なので、緩和してほしい。障害者向けの老人ホームでもいい。 ・一般の老人ホームでも障害者が溶け込めるようなところがあればいい。将来的には選べる自由が欲しい。 ・困ったときに相談する場所があればいい。人それぞれ悩みや困りごとが違うため、情報が必要。言葉で上手に説明してもらえればできる。
この地域に暮らして良かったこと	・水がおいしい。 ・富士吉田市は乏しいにしても電車、バス、タクシーがあるから助かる。 ・他の市町村ではタウンズニーカーが土日はストップすることが、吉田は少なくとも動いているからいい。 ・富士山が見えること。 ・堀内市長が県にも国にも意見を言ってくれる。頼もしい。リーダーシップをとってくれる市長のため安心して過ごすことができる。



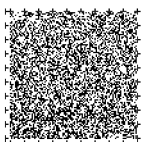
【身体障害者(聴覚)グループ】

令和5年9月 20 日(水)～10 月4日(水)

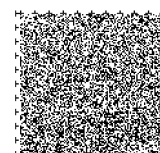
富士吉田市役所窓口

当事者6人(個別ヒアリング、アンケート方式)

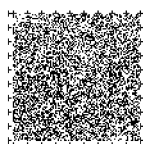
項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・地域内でお手伝いしてもらえないので不便である。 ・自治会内での情報がなかなかこちらに入ってこない。もし災害が起きた時、協力してもらいたくても、そのための情報が何も入ってこないで困る。 ・自分1人の生活なので、体調が悪いとき大変である。
災害や緊急時に不安に感じること	・夜遅く地震などがあったとき、自分も寝ているので助けてもらえるか不安である。防災ラジオをもらっても地震情報は入らないので困るし、電気が消えてもブザーが鳴らなければわからないので不安。冬は石油ストーブ等が心配。 ・スマホの防災アプリや防災訓練は、聴覚障害の方には文書での情報があるとわかりやすい。避難訓練には地域の方々と一緒に避難できる。 ・緊急時が困る。Net119 緊急通報システムには登録済みだが緊急時は操作・伝達手段心配である。 ・富士吉田防災アプリは取り込んでいるが、携帯のアプリ案内等がよく聞こえないし、通知がよくわからない。 ・民生委員との関わりが少ないので、連携して行事等に参加したいが、コミュニケーションがうまくとれていない。
社会参加で不安なこと	・防災ラジオは昼間しかないが、防災アプリは 24 時間ある。防災無線は緊急時に流れるシステムであるが、強いアラームがないと聞こえないため、強いアラームがあるとありがたいかつ聴覚障害者なので文章が入るとわかりやすい。 ・絵で書いてもらえると助かるが、ホワイトボードを活用するなど、コミュニケーションの方法を変えていくよう交渉していきたい。 ・免許証返納後の社会参加が心配である。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
社会参加で不安なこと(つづき)	・自治会に手話を理解してくれるサロン(趣味・レクレーション・お茶会等)があればよい。親睦の為に手話を使わなければ理解できないので、社会参加の際には手話通話ありとか文章に明記してあれば参加しやすい。 ・社会参加しているが情報が入ってこない、皆様の協力が不可欠。知らん顔をしないでいただければありがたい。
外出の際に不便に感じることも	・遠い場所に行く時はタクシーを使いたい、電話も使えないため連絡方法がなく不安である。 ・バス停はあるが、本数が少なく、経路が違うので不便である。また、コミュニケーションの問題もあり利用が困難である。 ・免許返納後は、外出時に困ると思う。
相談時に不安なこと	・家事・地震・買物等困難であるが、なにか困ったことがあったときは福祉課に相談しており、その都度対応してくれるのでありがたい。 ・民生委員さんが相談するときに家にきてくれる。連絡手段がなにもないので LINE に登録したが、やはり消せるホワイトボードが楽だと思う。 ・民生委員さんとは筆談になってしまうが、会った時に色々話ができて良い。手話通訳設置があると良い。 ・困った問題は福祉課にいった相談し、手伝ってもらっている。法律相談・相続の件は無料相談があるので事前に予約する必要がある。ここでの手話通訳をお願いしたい。
今住んでいる地域に必要なこと	・コミュニケーションが大切だと思う。イベント案内などが少なくなっている。地域では手話サークルが三カ所しかない、少ない為、増えるとよいと思う。情報交換できる場があるとよいが、地域ではなかなか前進しない。 ・情報もないし、自治会費を支払っているだけで何をしているのかわからない。 ・障害をもっている方がいることを皆さんに把握して欲しいし、一般の方にも手伝って欲しい。 ・聴覚障害の方は、目は見えるが音が聞こえないため、何が良くて何が悪いのかの情報が入ってこない。広報等に聴覚障害の方が「簡単にわかる手話等」を掲載してほしい。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
将来の不安	・家屋が壊れたりするし、自分も動けなくなるので、自分が倒れた時に手伝ってもらえるか。話もできないのでとても不安。 ・情報が入ってこない、もしくは遅れて入ってくるため不安。 ・地域の中でのコミュニケーションがないので不安である。 ・障害を持つ 20 代～30 代と 60 代～70 代の溝を埋めるのは難しい。次に引き継ぐ方がいないのもったいないし、現在の課題となっている。
この地域に暮らして良かったこと	・地域でも顔見知りがいると挨拶できるので良いと思う。自分は何も聞こえないのでそこが困るが、話をできる人と話をしたい。 ・色々気にかけてくれて暮らしやすい。避難訓練なども誘ってくれるので、少しでもコミュニケーションが取れる。大明見の中でも楽しく生活できる良い地区です。 ・ソフトボールを健常者と一緒に交流できて嬉しいです。手伝ってもらう人達も増えて良かった。自分も積極的にアピールしていきたい。



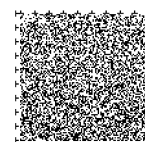
【知的障害者保護者グループ】

令和5年10月4日(水)

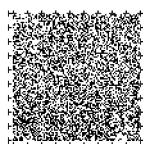
富士吉田市役所

保護者4人、市職員2人、記録者1人

項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・夜間に障害者をみてもらえる、医療と連携した施設が欲しい。 ・移動支援について市町村共通の支援の充実をしてほしい。 ・地域ぐるみの、人情のある昔のような交流があればいい。最近は皆自分のことで精一杯になってしまい、ご近所の支援もなく、人のつながりが薄くなっていると感じる。
災害や緊急時に不安に感じる こと	・車椅子や寝たきりでは徒歩での避難は困難。どの程度車で移動できるか、優先させてもらえるか。障害者や高齢者のための避難スペースは確保されているかが不安。 ・各市町村の共通内容の災害支援であってほしい。 ・車での移動が多いため、災害時に福祉と防災が連携してほしい。 ・福祉避難所について把握されていない人が多いように感じる。
社会参加で不安なこと	・寝かせられる場所がないと、長時間の社会参加ができない。 ・就労継続Bで調理作業をしていたが、生産性が合わなくなったため弁当配達が中止になった。働き方改革にもつながるため、ぜひ市や県で連携して支援してほしい。 ・コロナで社会活動が停滞していたが、今年になってから少しずつ動いてきて明るい兆しが出てきた。 ・イベントをすることで興味を持つ人を増やし、社会貢献につながればいい。興味を持ってもらい、サポートのやり方等を見て、学んでもらえる機会になったらいい。
外出の際に不便に感じる こと	・障害者トイレに、大人が横になれる大きなベッドがあるといい。一般の施設には少ないため、道の駅とかにあると助かる。 ・バス停がなくなったこともあり不便に感じた。 ・市役所にユニバーサルトイレを設置したことも知らなかった。広報が足りていない。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
外出の際に不便に感じること (つづき)	・タウンズニーカーは利用者が多く役に立っているが、国道沿いだけでなく、少し奥に入ってもらえるようなコースづくりも検討してほしい。
相談時に不安なこと	・相談しても紹介されるところがない。 ・相談そのものの不安は少ない。福祉課をはじめふじのわ圏域において、その面では充実してきていると思う。 ・成年後見制度について相談したいが、利用者が少ない。後見制度の費用を安く、施設も個人も得をするような制度を作してほしい。
今住んでいる地域に必要なこと	・医療ケアが必要な人を預かってくれる、医療と連携した施設があったらいい。 ・障害に関わっている者同士のつながりは強いが、コロナもあって地域との交流がなくなっている。自治会を核とした地域の交流も必要。近所の皆の顔が見えるような、活発な町内にしてもらいたい。 ・防災は具体的な行動指針がないので不安。高齢者も増えているため、町を通しての仕組みづくりができればいい。 ・市の広報で、福祉事業施設や一般就労企業の紹介をもっとしてほしい。 ・グループホームの24時間職員がいる施設がない。
将来の不安	・子どもをみれなくなったとき、なにかあったときの次の行き場所を考えるのに苦労する。 ・子供の将来に対しての支援、環境づくりをお願いしたい。 ・グループホームはあるが、ケアホームがない。事業所だけではできないので、ケアホームの充実のために行政からも力を借りたい。
この地域に暮らして良かったこと	・自然環境が良く、暮らしやすい。 ・同じ障害を持つ人たちや、ケアマネとも連携ができているため暮らしやすい。 ・交通の便が良く、住みやすい土地だと感じている。 ・ほどほど田舎、ほどほど都会でいい。



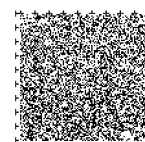
【知的障害者本人グループ】

令和5年9月 22 日(水)

障害福祉サービス事業所ありんこ

当事者3人、市職員2人、記録者1人

項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・グループホームは家と違って他の利用者も一緒のため、ルールがある。 ・夜に体調が悪くなった時、不安になる。
災害や緊急時に不安に感じる	・持ち出すものをどれくらい準備したらいいかわからない。 ・グループホームの職員が指示してくれるから問題ない。
社会参加で不安なこと	・ヨガ教室といった体を動かせる機会があって良かった。 ・ありんこ主催のイベントに参加している。
外出の際に不便に感じる	・タウンズニーカーの本数が少ない。土日は2本しかなく、乗り遅れると困る。 ・バスの本数が増えたらいい。
相談時に不安なこと	・日中はケアマネージャーや家族に相談できるが、夜に何かあったときどうしたらいいか不安になる。 ・ありんこには気軽に相談できる人がいる。
今住んでいる地域に必要なこと	・タウンズニーカーやバスの本数を増やしてほしい。 ・1人だと電車はあまり使わない。
将来の不安	・年を取ってきて、忘れっぽくなってしまっていることが心配。 ・家族と生活したいため、家族も一緒にグループホームで生活したい。
この地域に暮らして良かったこと	・グループホームの場所がいいが、設備が壊れている部分があるため治してほしい。 ・みなさんが優しく接してくれる。 ・道の駅ができ、図書館も行きやすい。



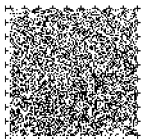
【精神障害者グループ】

令和5年9月 21 日(木)

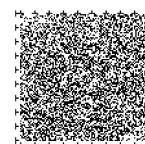
就労継続支援B型事業所 木の花

当事者3人、市職員2人、記録者1人

項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・具合が悪くなった時に説明しづらい。 ・親にもわかってもらえないため、相談する相手がいない。 ・特に精神的な面はわかってもらえない。理解してもらえる人が増えたらいい。 ・差別がなくなってほしい。 ・1人暮らしを始めるが、買い物や近所付き合いなど、環境に慣れるまでが不安。
災害や緊急時に不安に感じる	・薬がないと眠れなかったりするので、災害時に供給がなくなると不安になる。 ・災害時は頼れる人が少なくなるのが不安。 ・災害の際に人ごみに入ったらパニックになったこともある。
社会参加で不安なこと	・人の目が気になる。 ・地域や友人に対しても、分かってもらえないから仕方ないと諦めている。
外出の際に不便に感じる	・タウンスニーカーは便利だが、本数が少ない。 ・福祉タクシーがいい。 ・市内には病院がないため遠くに行くしかない。 ・行く場所によって支援の濃淡をしてほしい。
相談時に不安なこと	・知らない人には話さないし、相談しない人には相談しない。 ・スタッフが少ないため皆忙しく、話しかけづらい。話せずに持ち帰り、眠れなくなってしまうことがある。
今住んでいる地域に必要なこと	・交通の便をよくしてほしい。 ・周りの人に対して理解が欲しい。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
将来の不安	・仕事に向けて動いているが、働くうえで職場の理解があるか不安。 ・企業によって精神は受け入れてくれないところもある。 ・昔はOBとの交流があったり、近所の人々の理解もあり、仕事を周辺住民が手伝ってくれたりした。 ・理解は広めてほしいが、いろんな人がいるな、ということを理解してくれるだけでいい。
この地域に暮らして良かったこと	・「ふじのわ」や「木の花」に会えたことは良かった。 ・富士吉田にあるのがいい。遠くの人は大変。



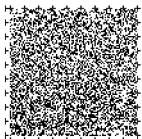
【障害児保護者グループ】

令和5年9月 19 日(火)～10 月6日(金)

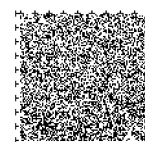
マザーズホーム

保護者6人(ヒアリング項目への文書による回答)

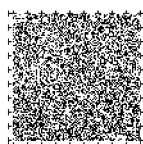
項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・療育の少なさ ・子供の自立支援(発語が無いためコミュニケーションができない、食事、着換え、入浴など) ・金銭面、偏食、トイレ、外出時。 ・高いところを怖がらず2階の窓枠に立ってしまうこと。 ・障害のあるお子さんが通える保育園や教育施設、リハビリ施設が少なすぎるし、障害のある子供の対応に特化した保育士や教員が少ない。 ・市内にも障害のある子どもの治療や受診に特化した医療機関があるといい。山梨県は甲府にこころの発達総合支援センターがあるが、郡内にもあるといい。 ・障害のある子どもを土日に預ける場所が少なく、夕方退園時間が早いため、仕事が思うようにできない。 ・安心して遊ばせる場所が少ない。 ・筋力が弱い子が遊べる場所が少ない。健常児と一緒にだと不安が多い。 ・発語がまだ少ないので意思疎通がうまくできないことがある。
災害や緊急時に不安に感じる こと	・災害時、避難できるかどうか。 ・環境の変化に弱いため、そのような緊急事態で親だけでは対応しきれない事が多くあるが、その時に頼れる人や場所が無い。 ・長い避難生活等になった時、環境が子供を含め耐えられるか。いつもと違う雰囲気ですパニックになりそう。 ・歩けないので、避難が不安。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
社会参加で不安なこと	・子供が将来仕事に就けるかどうか。 ・目に見えない障害への理解は、障害児と生活していない人には想像以上なので、他者がこどもを傷つけないか不安。 ・本人が周りのペースについていけるか、周りの人から発達の凸凹について理解が得られるか。 ・自立して生活できるのか不安。 ・保育園の行事と市役所の行事が重なる。 ・横の繋がりが無い。 ・障害のある子どもが通える保育園や教育機関が少ない。また、時間の制約もあり、仕事が思うようにできない。 ・将来、障害があっても働ける場所はあるか。
外出の際に不便に感じる事	・知的障害や、偏食、多動のため外食しづらい。 ・多動性があり危険の有無を判断できないので、車通りの多さや、歩行者の道路が狭すぎたり無かったりするの是不便。 ・通院の際に、障害者用の駐車スペースが空いてない。 ・玄関に段差があったりして、バギーで入れず、抱っこして行ったので大変だった。 ・下にも兄弟が居るので1人では買い物に行くことも出来ない。 ・落ち着いて買い物や見学やイベント参加ができない。トラブルや怪我などが気になり、リラックスできず、楽しめない。 ・障害のある方のトイレや駐車場が少ない。
相談時に不安なこと	・相談しても先の指針が見えない。具体案が無い。 ・自分の困っていることや不安な事が相談すべき事なのか躊躇してしまう。 ・ちゃんと理解してもらえるか不安。 ・同じ悩みを持っている人でないと分かってもらえなそう。 ・相談して対応してもらうのに時間がかかる ・ちゃんと子供の事を一緒に考えてもらい、適切なアドバイスをもらうことができるのか不安。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
今住んでいる地域に必要なこと	・夜間緊急受け入れのため、甲府まで行くのが大変。 ・受けられる福祉サービス等を明確に、障がい児保護者に知らせる。マザーズの親御さんでも、知っている人と知らない人の格差がある。 ・発達障がいがある又は疑いがある子どもたちを受け入れてくれる場所(マザーズみたいな専門的保育所や放課後デイサービスなど)が増えてくれればいいと思う。 ・障害児への理解。 ・買い物代行 ・障害のある人が尊重され安心できる職場、住居、サポートする人。 ・障害児などに対して冷たく対応するのではなく、もし困ってる時があったら優しく手助けしてもらえるような地域になってほしい。
将来の不安	・今の時点で、歩くことも話すこともできないので、どのように暮らしていけばいいのか不安。 ・1人になった時暮らしていけるのか。 ・障害のある子供が、親が亡くなったあとに安心して暮らしていけるのか。金銭管理を信頼して任せられる人がいるか、生活の住居の確保、就労できるか、親族以外に支えてくれる人はいるか、子供の将来全てに不安がある。
この地域に暮らして良かったこと	・出会ってお付き合いが続いていくなかで、親身になってくれる方が多いこと。 ・相談できる場所が沢山あるところ。 ・保育園や児童発達支援の事業所などの方々がかわいがってくださり、みんな親切でありがたい。 ・市役所の福祉の方や保健師さんも、感じがよく、相談しやすい。 ・障害のある子どもが通えるマザーズホームがあったこと。 ・地元なので知り合いが多い。 ・いろんな相談をしてからすぐに動いてもらえること。 ・近所に両親や親戚もいるので、何かあったときには助けてもらえること。



【障害児保護者グループ】

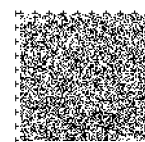
令和5年10月3日(火)

ふじざくら支援学校

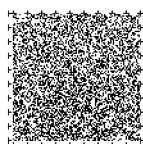
保護者6人、市職員2人、学校関係者1人、記録者1人

項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
日常生活で困っていること	・乗り物に1人で乗れず、偏見な目で見られて声をかけてもらえない。そういうところの不便さがある。
災害や緊急時に不安に感じること	・災害時の家庭での備蓄について、子どもは食べるのが楽しみなので、バリエーションがあるようたっぷりの備蓄があるべきだが、揃えるのが難しい。 ・避難所に行けたらいいが、車に避難、もしくは車で逃げるとかの方がいい。 ・自分のパーソナルスペースを確保した方が子供もいい。学校に逃げてこられた方が安心する。 ・避難は徒歩を想定されているが、子供を連れて長距離を歩くのは無理。障害児は車で逃げていいとかあったほうが動きやすい。市役所へ申請して認めてもらえるような形にしてほしい。 ・障害持ちだと避難に躊躇してしまうため、障害者専用の避難所を考えてほしい。市役所に近い子育て支援センターだと集まりやすいし、道具もある。一時避難であれば子どもたちも和らげることができる。ぜひ検討してほしい。
社会参加で不安なこと	・親子で参加しないと不安になる。 ・地域社会に出たいときは時間を決めて行ったりもできる。 ・音楽療法など、少人数制で、強制でなく予約制であり、親子で少し遊べるような場の提供があれば、無理なく過ごせていいと思う。 ・子どもの情緒安定にもつながるため、社会参加できる場が欲しい。おもちゃ図書館も閉鎖になってしまった(※)。
外出の際に不便に感じること	・交通機関の便が悪い。

※おもちゃ図書館は、下吉田中央コミュニティセンター「富楽時 ～ふらっと～」に移転しました。



項 目	障害当事者などの課題認識、提言など
相談時に不安なこと	・相談する相談員が資格をもっているかわからない。福祉に関しては特別で、あまりにも若い人が相談員にいと、話をする側からしたら不安になる。専門もあるので、資格を持っている人がいるべき。 ・経験のある人、ベテランの人が事業所にはいてほしい。
今住んでいる地域に必要なこと	・子どもの相談はできるが、お母さんたちのケアや兄弟児のケアも含めた家族支援を市で検討してほしい。 ・何でも話せる場があるといきやすい。お寺や公民館など、解放できる場がほしい。
将来の不安	・支援学校を卒業した後、A型、B型を含めて就労場所が少ない。知的な障害を持っていてもできる、富士吉田市の就職の場が欲しい。 ・就業先がちゃんとフォローしているか未知な部分があって不安になる。レベルに関係なく支援してほしい。 ・企業には入れても、アフターフォローが行き届いているか不安になるため、同じ企業で続けて働くことができる環境を整えてほしい。そういった町であれば一生安心できる。
この地域に暮らして良かったこと	・富士吉田市は給食費無料など、子育て支援が充実している。 ・支援学校に通っている子どもたちのことも考えた対策を入れてほしい。





富士吉田市

障 害 者 計 画 第 7 期 障 害 福 祉 計 画 第 3 期 障 害 児 福 祉 計 画

富士吉田市 市民生活部 福祉課

〒403-8601 山梨県富士吉田市下吉田 6-1-1

電 話：0555-22-1111（代）

F A X：0555-22-1122

電子メール：fukushi@city.fujiyoshida.lg.jp

富士吉田市ウェブサイト：<https://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp>

